

令和 4 年度 重点事業

団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年に向け、「効率かつ質の高い医療提供体制の構築」と「地域包括ケアの構築」が急務の課題となってきました。また、中長期的な人口減少・高齢化の進行を見据えつつ、今般の新型コロナウイルス感染症への対応により顕在化した地域医療への課題を含め、地域の実情に応じた質の高率的な医療体制を構築することが求められています。

和歌山県でも地域包括ケアシステム構築が推進されるなか、「病院完結型医療」から「地域完結型医療」への転換が進み看護職の活躍の場は広がっていますが、どのような場においても看護職は、適切な保健・医療・福祉を提供し、人々の生活の質が高まるように機能しなければなりません。

県民誰もが、「住み慣れた地域で安心して適切な医療を受けられる社会」を実現するためには、看護職を軸とした多職種連携が、今後ますます必要になってきます。

和歌山県看護協会においても、このような現状や課題をしつかりと認識し、定款 4 条にそって、本協会の理念である「県民の健康な生活の実現」を目指して ①看護の質の向上、②看護職がいきいきと働き続けられる環境づくり、③看護領域の開発・展開を使命に掲げています。

今年度も、公益社団法人として、全ての県民の期待に応じられる看護の実現をめざして、看護職の育成及び質的向上、人材確保の実現をめざして使命・活動理念を軸に、次の 6 項目を重点事業として掲げ、活動を展開してまいります。

1. 看護実践能力及び専門性の強化
2. 働き続けられる環境づくりと人材確保定着の推進
3. 県民の健康な生活の実現の推進
4. 地域包括ケアシステムの構築と推進
5. 保健師活動の体制整備と機能強化
6. 助産実践能力強化とその体制整備

重点事業

1. 看護実践能力及び専門性の強化

看護職は、生涯にわたり自己の能力開発に努め、看護の質の向上を図ることが責務です。

看護専門職能団体としての役割として、生涯教育を支援し、看護の質の向上を図ることは、協会事業の柱でもあります。

今年度も、看護職一人ひとりが自己研鑽して看護の力を発揮できるよう、教育計画に基づいて新人看護職員研修をはじめ、看護職のキャリア開発支援を推進し、看護実践能力の強化に努めます。

2. 働き続けられる環境づくりと人材確保定着の推進

団塊の世代が後期高齢者となる 2025 年に向け、生涯にわたる活躍が期待される時代となり人材確保は喫緊の課題です。

わが国における医療提供体制は、これからの超高齢社会への対策として、「病院完結型」から「地域完結型」へと転換が進められており、超高齢社会では"病気とともに暮らす人"を地域で支えることとなります。このような社会の変化に対応していくために、2018 年日本看護協会は、「看護職の健康と安全に配慮した労働安全衛生ガイドライン～ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場をめざして）～」を公表しました。看護職が仕事とバランスの良い調和を実現させ長く働き続けるためには、働き方を選択できることが必要です。働き続けられる職場づくりを支援し普及を進めます。

また、身近な場所で、離職者の届出の促進と就労相談を、ハローワークと連携し「ナースのお仕事相談」を月 4 回開催するとともに、ナースセンターを看護職の確保・定着の総合拠点としての役割を図ってまいります。さらに、看護職が離職等の際に都道府県ナースセンターに届出ることの推進に努めます。

今後も看護職の働く環境が改善できるよう、行政、労働局、ハローワーク等、各関係団体と連携を強化して、働き続けられる環境づくりの推進に努めます。

3. 県民の健康な生活の実現の推進

看護研修センターを拠点に「県民の健康な生活」の実現に向けて、看護週間や老人月間、「まちの保健室」等を開催し、県民の健康増進に努めます。また、地区支部と連携を図り、地区支部活動を支援し積極的に推進してまいります。同時に、和歌山県看護協会への理解を深めて頂くために、様々な機会を捉えて情報発信に努めてまいります。

今年度も、行政や関連団体と連携しながら事業を推進してまいります。

4. 地域包括ケアシステムの構築と推進

少子高齢化が進む中、「治す医療」から「治し支える医療」へと移行しており看護職の役割も大きく変わってまいります。また、要介護高齢者や認知症者の増加等により、介護・福祉施設や在宅療養の場における看護職への期待もさらに大きくなっています。

和歌山県は、高齢化も全国を上回る速さで進行し、令和3年1月1日現在全国第9位で超高齢社会を迎えています。

看護協会では、在宅領域のネットワークづくりや、人材の確保・育成及び看護の質向上に向けて和歌山県の受託事業として「退院支援看護師研修」、「訪問看護入門研修」、「保健師研修（中堅期）」「認知症対応力研修」を実施してまいります。

今年度も看護師職能委員会Ⅰ（病院領域）、Ⅱ（在宅領域）、和歌山県訪問看護ステーション連絡協議会、行政及び関係機関等と連携しながら在宅看護、介護施設の看護の機能を強化し、療養を支える訪問看護・介護領域における看護の質の向上並びに人材確保に努めてまいります。

5. 保健師活動の体制整備と機能強化

保健師は個人及び地域全体の健康増進や疾病予防を図るため、平成 25 年 4 月に示された保健師活動指針に基づき保健活動を推進していく役割があります。

生活習慣病予防や身体機能の維持向上を図り、健康寿命の延伸に向けた取り組みや、住み慣れた地域でその人らしく暮らしていける地域包括ケアシステムを推進してまいります。

保健師職能委員会では、これらを実現していくために、今年度においても、職能集会、保健師交流会等を実施し、保健師の専門的な知識や技術の向上，保健医療福祉介護等の重層的連携体制の構築に取り組み、保健師職能の組織力アップに努めてまいります。

6. 助産実践能力強化とその体制整備

助産習熟段階（クリニカルラダー：CLoCMiP）に基づき助産実践能力強化支援のため、研修会を企画運営していきます。

そして、切れ目のない妊娠・出産・子育て支援を図るため、地域との連携体制の推進、各医療機関における「母子のための地域包括ケア病棟」の開設・運営が推進されるよう情報提供に努めてまいります。

また、今年度においても、職能集会、助産師研修会等を継続し、専門性の強化と連携体制整備に努めてまいります。

令和 4 年度 事業計画

事業計画は、定款 4 条の 6 つの事業に沿って掲載

- (1) 看護教育及び学会等学術振興に関する事業
- (2) 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業
- (3) 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善等に関する事業
- (4) 地域ケアサービスの推進に関する事業
- (5) 日本看護協会との協力及び連携に関する事業
- (6) その他本会の目的達成のために必要な事業

- ・ 二重下線は重点事業
- ・ 下線は新規事業

I. 看護教育及び学会等学術振興に関する事業

1. 看護教育に関する事業

1) 教育計画の企画・実施・評価 (日本看護協会の研修分類で表示する)

No.	分類	内容
1	「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育	1)新たな社会ニーズに対応する能力支援のための研修 2)政策提言に向けた研修 3)診療報酬に関連した研修
2	ラダーと連動した継続教育	1)「助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)」(CLoCMiP [®]) 2)「看護師のクリニカルラダー(日本看護協会版)」(JNA ラダー)
3	看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育	1)看護管理者を対象とした研修 2)認定看護管理者を対象とした研修 3)これからの看護管理者を担う人々を対象とした研修
4	専門能力開発を支援する教育体制の充実にに向けた継続教育	1)施設内教育における JNA ラダー活用のための研修 2)都道府県看護協会の教育担当者・教育委員対象研修
5	資格認定教育	1)認定看護管理者教育課程 2)認定看護師教育課程

分類 1 : 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育

(1) 県受託事業 9 コース

病院勤務以外の看護師等に対する認知症対応力向上研修 (県受託事業)

(2) 各職能委員会研修会 12 コース

分類 2 : ラダーと連動した継続教育

(1) 新人教育 5 コース

(2) ジェネラリストを育成する教育 34 コース (医療安全・災害看護を含む)

分類 3 : 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育

(1) 管理者を育成する教育 8 コース

(2) 認定看護管理者交流会

(3) 「看護管理」に関する出前講座

分類 4 : 専門能力開発を支援する教育体制の充実にに向けた継続教育

- (1) 和歌山県保健師助産師看護師実習指導者講習会開催（県受託事業）
- (2) 新人看護職員実地指導者研修（県受託事業）
- (3) JNA ラダー活用のための研修会
- (4) 認定看護師フォローアップ研修会

分類5：資格認定教育

- (1) ファーストレベル教育課程
- (2) セカンドレベル教育課程
- (3) 認定看護管理者教育課程セカンドレベル修了者の看護管理実践報告会

その他：日本看護協会主催 医療安全管理者養成研修

2. 学会等学術振興に関する事業

- 1) 令和4年度和歌山県看護研究学会
開催日：令和5年2月4日（土）
開催場所：看護研修センター

3. 図書室の運営に関する事業

- 1) 図書・雑誌等の購入及び図書利用の促進
現場の状況に応じた図書購入を予定する
- 2) 最新看護索引 web 機関版の利用促進
- 3) 「医中誌」の利用促進

4. 災害時の看護支援活動事業

- 1) 災害支援ナースの育成及び登録の推進
 - (1) 災害看護に関する研修
 - (2) 災害支援ナースの登録推進
 - (3) 災害支援ナースの活動支援
 - (4) 災害看護マニュアルの改訂
- 2) 災害支援ナース派遣調整訓練
- 3) 近畿地区看護協会災害支援に関しての会議への参画
- 4) 和歌山県・市等行政との連携
 - (1) 地域災害支援看護師養成研修事業（県受託事業）
 - (2) 和歌山県・市等への防災会議への参画
 - (3) 和歌山県・市等への災害医療対策会議への参画
- 5) 和歌山県看護協会内の災害対策マニュアル作成

5. 医療安全の推進に関する事業

- 1) 医療安全に関する研修
医療安全に関する研修と医療安全管理者養成研修修了者フォローアップ研修
日本看護協会主催の医療安全管理者養成研修（再掲）
- 2) 医療施設の医療安全情報をホームページに掲載
- 3) 医療安全に関する相談対応・情報提供
 - (1) 黒潮に掲載「医療安全数珠つなぎ」

II. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業

1. 労働環境等の改善及び就業促進に関する事業

1) 就業促進事業

(1) ハローワークとの連携

①ナースセンター サテライト開設 (県受託事業)

(和歌山・田辺) 毎月各2回

②ナースセンター・ハローワーク連携事業

(2) 看護職等の離職時の届け出に関すること (とどけるん)

(3) ナースバンク事業

①ナースセンターだより (年4回)

②就職説明会

③「e ナースセンター」求職者新規登録

④「e ナースセンター」求人施設別登録

(4) 施設別・雇用形態別就業者数

(5) ナースセンター事業推進委員会

・再就業促進研修 (ナースの輝く人生応援交流会) (県受託事業)

(6) 施設訪問の実施

離職防止対策事業

・「ナース相談窓口」

2) 看護職の健康管理

(1) 看護職のメンタルサポート

(2) 看護職の喫煙問題に関すること

3) 潜在看護職員復職支援強化研修事業

(1) ナースのお仕事相談 (ハローワークとの連携)

(2) 潜在看護職員復職支援研修 (県受託事業)

紀北、紀南

(3) 採血技術演習 (第1・第3木曜日)

4) 和歌山県医療勤務環境改善支援センター運営協議会等への参画

5) 看護職の働き方改革の推進

プラチナナースの活躍促進

2. 新型コロナウイルス感染症対策事業関係

1) 新型コロナウイルス感染症に係る保健所体制強化のための保健所支援業務

(県受託事業)

2) 厚生労働省新型コロナウイルス感染症対応看護職員等の人材確保事業における

(1) 「新型コロナウイルス感染症対応潜在看護職員研修事業」

(2) 「新型コロナウイルス感染症対応看護職員離職防止相談事業」

(3) 「新型コロナウイルス感染症対応看護職員等人材調整事業 広域人材調整事業」

(日看協受託事業)

Ⅲ. 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善等に関する事業

1. 三職能合同活動

- 1) 研修会 令和4年9月10日(土) 10:00～16:00
テーマ：地域共生社会実現にむけて
講師：金川 めぐみ氏(和歌山大学 経済学部 教授)
シンポジウム：各職能から

2. 保健師職能委員会活動

- 1) 職能集会
- 2) 保健師交流会
- 3) 組織強化への対策
(1) 「保健師職能だより」発行
- 4) 保健師活動指針の普及・活用

3. 助産師職能委員会活動

- 1) 助産師研修会
- 2) 職能集会
- 3) 助産師交流会

4 - 1. 看護師職能委員会 I 活動

- 1) 病院領域における看護師の質向上のための研修会等の企画・実施
(1) 研修会の開催
 - ① 准看護師交流会
テーマ：医療安全と倫理
 - ② 男性看護師交流会
テーマ：男性看護師の労務管理
 - ③ 看護管理者研修
- 2) 看護職の交流を通して情報交換し、看護職の活性化を図る

4 - 2. 看護師職能委員会 II 活動

- 1) 介護・福祉施設・在宅領域(診療所も含む)の看護の質の向上と連携について
 - ① 看護師職能II研修会
テーマ：QODクオリティ・オブ・デス ～生きることを支える看護を考える～
- 2) 地域包括ケアシステムの推進に向けたネットワークづくりについて
 - ① 訪問看護連絡協議会との合同研修会
テーマ：看護をつなぐ
～安心して療養生活を続けるための連携の在り方～
 - ② 高齢者ケア施設看護師交流会
テーマ：看護II領域でのBCP作成について
～地域での連携の在り方について考える～

IV. 地域ケアサービスの推進に関する事業

1. 看護の心普及啓発事業

- 1) まちの保健室の開催
 - (1) まちの保健室
場所：スーパーセンターオークワセントラルシティ和歌山店 4回
 - (2) 高校生・短大生への健康チェック
- 2) 看護週間事業
 - ・ふれあい看護体験
 - ・8地区支部での1日まちの保健室
 - ・看護の日の記念行事（ナースデイフェスタ 和歌山）令和4年5月7日（土）
- 3) 看護学生への進路相談
- 4) 看護の「出前授業」
- 5) 老人看護月間行事（8地区支部で実施）
 - ・「出前健康チェック」等

V. 日本看護協会との協力及び連携に関する事業

1. 日本看護協会との連携

- 1) 日本看護協会主催の会議
 - (1) 通常総会（幕張メッセ） 令和4年6月8日（水）
全国職能交流集会（幕張メッセ）
 - (2) 理事会 年6回
 - (3) 全国職能委員長会
 - (4) 全国法人会員会
 - (5) 地区別法人会員会（京都） 令和4年10月17日（月）
地区別職能委員長会
 - (6) 各担当者会議
 - ・都道府県看護協会政策責任者会議 9/29
 - ・都道府県看護協会看護労働担当者会議 5/19
 - ・都道府県看護協会会員情報管理情報交換会 9/7
 - ・都道府県看護協会・都道府県訪問看護連絡協議会合同会議 11/18
 - ・ナースセンター事業担当者会議 5/20
 - ・都道府県看護協会図書室担当者会議 7/21
 - ・都道府県看護協会広報担当役員会議 11/10
 - ・都道府県看護協会災害看護担当者会議
 - ・全国看護基礎教育担当役員会議
 - ・認定看護管理者教育機関担当者会議 5/27
 - ・母子のための地域包括ケアシステム推進会議 7/27
 - ・院内助産・助産師外来推進フォーラム（仮） 1/26
 - (7) 2022年度「看護師基礎教育を考える会」 8月

2. 日本看護協会重点政策への協力

- 1) 全世代の健康を支える看護機能の強化
- 2) 専門職としてのキャリア継続の支援
- 3) 地域における健康と療養を支える看護職の裁量発揮
- 4) 地域の健康危機管理体制の構築

VI. その他本会目的達成のために必要な事業

1. 組織強化に関する事業

- 1) 会員数の増加・拡大
 - (1) ホームページの充実
 - (2) 新人看護職員オリエンテーション
 - (3) 病院協会 新人職員オリエンテーション
 - (4) 看護師等学校養成所の行事への参加
 - (5) 看護学校への訪問
 - (6) 各施設への訪問
- 2) 会員サービスの充実
 - (1) ホームページ等での情報提供
 - (2) 会員からの問い合わせ・相談対応
 - (3) 会員の福利厚生（表彰・慶弔見舞・災害見舞等）
- 3) 地域における看護職のネットワーク強化事業（県看護協会の普及・啓発）

2. 円滑な組織運営

- 1) 諸会議の開催
 - (1) 通常総会 令和4年6月25日（土） 場所：和歌山県看護協会 大ホール
 - (2) 理事会（年6回）
 - (3) 支部会議
 - (4) 理事・各委員長合同会議（年2回）
 - (5) 代議員研修会
 - (6) 監査（年2回）
 - (7) 各委員会の開催
 - ①各職能委員会
保健師職能委員会
助産師職能委員会
看護師職能委員会 I
看護師職能委員会 II
 - ②常任委員会
社会経済福祉委員会
教育委員会
広報委員会
看護研究学会委員会

医療安全対策委員会

災害看護対策委員会

③特別委員会

まちの保健室運営委員会

ナースセンター事業推進委員会

認定看護管理者教育運営委員会

認定看護師フォローアップ委員会

④その他 委員会

和歌山認定看護管理者会

推薦委員会

2) 広報

(1) 和歌山県看護協会会報「黒潮」発行 年4回

ナースセンターだより 年4回(再掲)

(2) ホームページの充実及び閲覧の推進

3. 認定看護管理者による看護管理者からの相談窓口

・「よろず相談」の案内

4. 政策への参画

・行政や県議会等への要望

・和歌山県看護連盟との連携

5. 関係団体共同事業参加

1) 関係機関の委員会および協議会等への参画

2) 後援・協賛依頼への協力